


④地域への防災支援

■ 平成 28 年 8 月北海道大雨災害時の対応

リエソンの派遣

帯広開発建設部から延べ 64 人（北海道開発局全体で延べ 406 人）を関係自治体・機関へ派遣



TEC-FORCE の派遣

北海道開発局及び関東・中国・四国地方整備局全体で延べ 1151 人を各被災課所へ派遣し、応急対策、復旧方法等を提案




防災ヘリによる被災状況調査

上空からの国道被災を調査。日勝峠 8 合目



排水活動

内水氾濫の危険性、または発生した十勝管内 9 箇所において、延べ 39 台日排水活動を実施（排水ポンプ車は道内 5 開建からも派遣）




災害対策用機械の派遣

帯広開建で延べ 104 台、開発局で延べ 545 台の災害対策用機械を関係自治体・機関に派遣



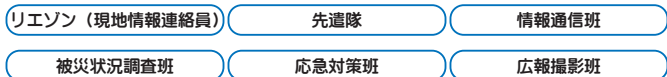
地域住民への給水支援

大雨災害により断水となった地域へ給水支援を実施。十勝管内では、新得町、清水町、芽室町、大樹町に散水車を派遣



■ TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）

国土交通省が創設した部隊で、大規模な自然災害時に、被害状況の迅速な把握、被害の発生及び拡大の防止、被災地の早期復旧などに取り組み、地方公共団体を支援します。また、開発局は「ドローン隊」を令和 4 年 2 月に設置し、迅速な被災状況調査に対応できる体制を整えています。



TEC-FORCE 活動の流れ



被災状況調査班



ドローンを活用した被災状況調査

応急対策班



排水ポンプ車による緊急排水

■ 主な災害対策用機械

排水ポンプ車


豪雨等による洪水時に溢れた水を排除します。排水ポンプ、発動発電機、照明装置、クレーン装置等を搭載しており、ポンプ設置から排水作業までの作業を 1 台で行うことが可能。

【近隣の配備状況】
帯広開建本部、池田河川



照明車

夜間の災害現場における作業員の安全確保や、被災現場の監視を行う場合の照明として使用が可能。



【近隣の配備状況】
帯広開建本部、池田河川



散水車（給水装置付）

通常時は、道路清掃に使用している散水車に、給水装置を搭載し、給水活動にも利用できるほか、公共施設等の給水タンク等にポンプアップすることも可能。

【近隣の配備状況】
帯広道路、足寄道路、広尾道路



衛星通信車

災害が発生した際に速やかに現地に移動し、通信確保及び情報収集・伝達を行う機械です。不感地帯がほとんど無く、日本国内のほぼ全域で通信確保が可能。

【近隣の配備状況】
帯広開建本部、旭川開建本部等



対策本部車

車両後部を拡張させることにより、現地対策本部に必要なスペースを確保出来ます。各種情報通信機器が搭載されており、場所を問わず情報収集・連絡が可能です。

【近隣の配備状況】
帯広開建本部、旭川開建本部等

